



飛州志

二

共拾

ル 4
5009
2



門 4
號 5009
卷 2

飛州志

飛州志卷第之二國法部目錄



古制

要關名數

制札

記里抗

驛路

所在于國城之村里之各田

奴婢及人期限

鐵炮制限

年稅雜穀之代米

燒自田



忌鐵山洞

稻之束數考

松呼

橋坂

木

森

水

瀧

閩嶽

石

田

物產

材木名品 先通稱 附瑕疵通稱

博木名品 先通稱

材木博木出他州運漕之通稱 先中網之製

袋之製

白木品類

楮 先造紙名品



蓄蚕通稱 先種子名品

絲 先綿 附飛彈 紬 涼 袴 之製

批目細工

茶

藍

鷹

金銀銅鈔

柴薪 附國名

炭

古今藥料 先各品 附國名

焰硝

礬

漆
膏油
陶器
魚菜茶穀稱地名類

飛州志卷第之二 國法部

○要聞名數

本土今所在之關數二十一ヶ所通稱口 留番所 國界或ハ往來ノ要路ニ建テ土
 著ノ役人各交代レテ守之是自他國ノ僧俗男女ノ出入ヲ改メ高賣ノ
 諸品ハ悉ノ其負ヲ正シ運上ヲ納メ通稱口 留番所 是古來定法ノ壁
 書アリテ沙汰セリ故ニ州内ヨリ出ル物ハ高山國府ニ集メ治牙ニ訴
 各運上ノ納メ印證ヲ得テ通行セリ通稱口 留番所 其地名ヲ載ス
 ○下原口益田郡下原村ニテ自是濃州金山ニ出ル ○福来口同郡
 福来村ニテ自是濃州田島村ニ出ル ○門和佐口同郡門和佐村ニ
 アリ自是濃州佐見村ニ出ル ○御厩野口同郡御厩野村ニテ自是
 濃州小郷村ニ出ル ○門原口同郡門原村ニテ自是濃州岩谷村

三九関現
 二関火田
 實際ノ定置
 之ノ所中
 給先利根
 和佐候 出野
 平陽 飯岡
 天保三度手
 信州松本
 領有之平湯
 往來ノ要路
 日蓮堂
 成 世人云
 三重近
 不自由也云

ニ出ル ○大洞口同郡山川村ニアリ高山ヨリノ中関也 ○上馬瀬
口同郡中切村ニアリ自是濃州ナリ村ニ出ル ○下馬瀬口同郡西
村ニアリ自是濃州ヲ懸村ニ出ル ○上ヶ洞口同郡上ヶ洞村ニアリ自
是信州川浦村ニ出ル ○渚口大野郡渚村ニアリ高山ヨリノ中関也
○山え口同郡山え口村ニアリ高山ヨリノ中関也 ○阿多指口同郡阿
多指村ニアリ高山ヨリノ中関也 ○大原口同郡大原村ニアリ自是
濃州坂本村ニ出ル ○寺河戸口同郡寺河戸村ニアリ自是濃州霰村
ニ出ル ○野々俣口同郡野々俣村ニアリ自是濃州鷲見村ニ出ル
○牛首口同郡牛首村ニアリ自是越中國大島場ニ出ル ○小白川口
同郡小白川村ニアリ自是越中國赤尾村ニ出ル ○椿原口同郡椿原村ニ
アリ高山ヨリノ中関也 ○羽根口言城郡羽根村ニアリ自是越中國水
無瀬村ニ出ル ○ニ屋口同郡ニ屋村ニアリ自是越中國長谷村ニ出ル

○小豆澤口同郡小豆澤村ニアリ自是越中國蟹寺村ニ出ル ○加賀
澤口同郡加賀澤村ニアリ自是越中國加賀澤ニ出ル ○中山口同郡中
山村ニアリ自是越中國藤寺村ニ出ル ○荒田口同郡横山村ニアリ自是越
中國猪谷村ニ出ル ○茂任上ノ茂任下口同郡茂任村ニアリ自是越中國
長棟村ニ出ル ○歸津川口同郡歸津川村ニアリ出所同上 ○山野口同
郡下ノ本村ニアリ自是越中國有峯村ニ出ル ○和佐保上ノ和佐保下口同
郡和佐保村ニアリ高山ヨリノ中関也 ○平湯口同郡平湯村ニアリ自是
信州大根川ニ出ル

以上國界ノ村名兩國同稱ナルモノ
アリ此類國界ニ間々アルト可知

○制札

本エ今所在制札ノ名目ヲ載ス ○忠孝 ○毒藥 ○人賣買 ○切
支丹 ○欺貨 ○史附者 以上六札アリ文詞ハ畧之國府申付ヲ始メ
凡テ驛路ノ村里毎建之其餘ノ村里ニ於テハ切支丹火附ノ兩札ヲ建表リ

○記里抗

本土ニ於テスヘテ往還ノ驛路其一里毎ニ建ル處ノ抗也是則他州ニ於
一里ト云ニ同シ元來州内ノ道路狹窄ナルハ路傍ニ塚ヲ築シキ地丈
シ故ニ抗ヲ建テ其里數ヲ誌シ道ノ左右ニ備ヘリ可謂其銘

從高山何里

凡テ高山ノ國府ヲ中央トシテ東西南北ノ四道是ヨリスル行程右國府
ヨリ計リ國界ニ至リ終レリ其一里ト稱スルハ多ク五十町ヲ用ヒ来ル見テ

○驛路

本土ニ於テ隣國往來ノ本道四道アリ東ハ阿多野節日和田通野麥
通ト稱ス南ハ益田節竹原通下原通馬瀬通佐美通白川通郡上
通ト稱ス西ハ川上節白川節ト稱ス北ハ下山中節中節中通ト稱ス

各其須路ノ村里ヲノス可謂 ○東道 國府高山町江名子村山口村

村見座村甲村石村上見村大廣村里川村小瀬ノ同村香生谷村猪鼻

村中ノ宿村下見村日影村上ノ洞村阿多野御村日和田村以上阿多野節節日

州國屋村ニ出ル 志同村野麥村以上野麥通也自是 ○南道 國府高山町石浦

村宮村山梨村久々野村無數河村引下村木藏洞村長淀村渚村門坂

村少坂町村坂下村宮田村島田同村上三村萩原町村花池村中呂村東

上田村陽島村小川村兼政村官地村御所野村以上竹原通也自是 官地村

復燒村田口村門和佐村以上佐美通也自是 湯島村小箇野村三原村門原

村保井戸村以上郡上通也自是 保井戸村瀬戸村和佐村福来村中津原村

大船戸村以上能川通也自是 瀨戸村三淵村中切村下原町渡村以上下原通ナリ

町心 國府高山町宮村山口村尾寄村中切村以上馬渡通也自是 尾寄村

野上村羽根村名丸村井谷村總島村西村下山村以上郡上通也自是 ○西

農州弓縣村ニ出ル

道國府高山町上岡本村春國村新宮村三日町村牧首洞村藤瀬村福寄
 村三谷村有巢村二俣村楢谷村大原村以上河上郡也自是濃州故本村出 國府高山町牧首
 洞村夏鹿村上小島村六所村三尾河村寺河村黒谷村總則村猿丸村新瀨村赤谷
 屋村野之俣村以上白川郡也自是濃州豐見村出 新瀨村中畑村牧戸村牛丸村岩瀬村赤谷
 村中野村海上村尾神村福島村牧村御母衣村平瀬村保木服村野谷村
 大牧村鳩谷村椿原村以上白川郡也自是越中州加須長村出 鳩谷村飯島村内ヶ戸村椿原村小
 白川村以上白川郡也自是越中州高尾村出 ○北道國府高山町七日町村桐生村木野村下切
 村三川村廣瀬村廣瀬町村是重村小府古川町松寄村架袋元村野口村大
 無雁村小無雁村角川村中澤上村二屋村以上越中郡也自是越中州同長谷村出 大無雁村落合
 村崖與村野首村林村牧戸村丸山村之河原村寺保村戸谷村小野村桑
 谷村杉原村少豆澤村以上越中郡也自是越中州小豆澤出但此類國界之間在之 廣瀬村今洞村八日
 所村崇山村上山田村伏方村堀之内村寺林村聖之根村舟津西村割石村漆

山村茂住村中山村以上越中郡也自是越中州飛越三州共三豆澤村出此類國界之間在之 舟津町村東町村鹿間村吉ヶ原村東添山村牧村土村東茂
 任村杉山村横山村以上越中郡也自是越中州飛越三州共三豆澤村出此類國界之間在之 飛越三州共三豆澤村出此類國界之間在之

○平在國界村里之名

本六美濃信濃越中加賀越前ノ五州ニ入マルトイハトモ加賀越前ノ二
 州ニ八頃路ノ村里ナシ故ニ濃信越ノ其國界ニアル地名ヲ載ス

- 益田郡下原町自是濃州金山町出 ○同大船渡村自是濃州島村出 ○同門和佐村自是濃州吉田村出
- 同保井戸村自是濃州屋村出 ○同下山村自是濃州宇野村出 ○同西村自是濃州弓縣村出
- 同中切村自是濃州小川村出 ○同銜所野村自是濃州小野村出 ○同野麥村自是濃州浦村出
- 同日和田村自是信州岡屋村出 ○大野郡大原村自是濃州坂本村出 ○同寺河戶村自是信州川村出
- 同野々俣村自是濃州水澤村出 ○同小白川村自是越中赤尾村出 ○同牛首村自是越中大村出
- 吉城郡加賀澤村自是越中州加賀澤村出但此飛越三州ト云リ ○同羽根村自是越中水無村出
- 同二屋村自是越中四結村出 ○同少豆澤村自是越中小豆澤村出但此飛越三州共少豆澤ト云フ
- 同谷村自是越中巖寺村出 ○中山村自是越中猪谷村出 ○横山村自是越中猪谷村出
- 杉山村自是越中猪谷村出

自是數中長
棟村ニ出ル

○同龍古村上同

○同大多和村

自是數中
有峯村ニ出

○同和佐倉村同

○同平湯村自是信州大
根川村ニ出ル

○奴婢事人期限

本土ノ民間ニ於テ奴婢ヲ仕フノ期限アリ各其期月ヲノス ○益田郡
ハ二月二日ヨリ同年八月二日ニ至ル又八月二日ヨリ翌年二月二日限リ
トス是羊季也 ○大野郡吉城郡ハ十二月ヨリ翌年ノ十二月ヲ限リトス
是一季也 ○大野郡國府高山所ハ二月二日ヨリ翌年ノ二月二日ヲ限リ一
季トセリ

○鐵炮制限

本土ニ於テ今所在之鐵炮總負九百十七挺アリ所謂領師鐵炮威鐵炮ナリ
其制限ノ法ヲ載 ○獵師鐵炮七百二十四挺洲内ノ民古來持傳エテ呀用
トスル也其一挺毎ニ治呀ノ印札ヲ以テ證トス ○威鐵炮百八十三挺州

内ノ村里ニ積リ來ル處ニテ全ク獵用之為ニテアラス是鳥獸ノ田島ヲ荒シ作
モテ食フ損害ヲ威シ退クルモテニ至ラ用ヒス亦故ツテニ用エ故ニ久ハ悉ク是
ヲ治呀ニ納メテ官庫ニヲク毎歲二月ニ至レハモトノ村里ニ返シ渡シテ九月
迄ハ故ツテヲ許スラ法トス又總負數ノ外ニ取上鐵炮ト稱スルモノアリ是
ハ元來民ノ所持クリトイヘ凡悉ク具足等ノ損失セシモノ類私ニ修補ヲ加フ
ルヲ制禁スルニ依テ則官庫ニ藏メタルモノ也並ニ鐵炮ヲ持傳タル民死セトキ
是ヲ讓リ傳フヘキ子孫或ハ親族モナキニ至ツテハ同ク取上テ官庫ニ藏ル法
ナリ

○年稅雜穀代米

本土ハ凡テ平陸ノ地少シ猶山奥ニ至ツテハ皆富ノ村里多シ故ニ精米其地ニ
乏シク他ノ精米ノ價ヲ用金銀ヲ以テ貢納スルヲ石代金納ト稱セリ總テ石
代金銀
網ノ法ハ諸
州トニ同シ然ルニ是ヲ收納スルニ期月ノ法アリ依テ期月ノ際限ニ至ツテ民
ノ難渋セサルタメニ定タル古法也則秋成ノ最初ニ其地ニ於テ民ノ作り出

セル種穀ノ類何トイフニハ限ラズ其民ノ年貢ノ石數ニ應シテ法ノ如ク納
メサセ御藏ニラケリ 御藏ト云ハ村數十モ二十ニ組合セテ其便ヨキ村里ニ建テ
是ニ集メ自是治所ノ官庫ニ運送スル也故ニ寄藏トイヘリ其雜穀
ヲ以テ精米ニ充ル處ノ國法ヲ載ス ○稗一斗精米三升ニ充 ○蕎麥一斗
精米五升ニ充 ○籾一斗精米五升ニ充 ○大豆一斗精米六升ニ充 ○粟一
斗精米七升ニ充 ○粟一斗精米一斗ニ充以上是本土古今ノ法也則如此雜
穀ヲ以テ年稅ヲ價イ是ヨリ朝月迄ノ間ニ村民各正金銀ヲ割畧シテ治
所ニ納メリ於テ茲初ノ御藏ニラク處ノ雜穀ヲ出シモトノ村里ニ返シ渡ス
度也載ニ古法ト可謂歟 和云御藏之度實政子年御政正也仰出御郡代及御常
殿寄付中双取取明ニ成鋪地迄不殘御郡ニ相成石之合捨在御金
手収納候也

○燒畠

本土山奥ノ村里ニ於テハ甚田畠ノ乏シキカ故ニ深山溪間トイヘ用波池
偏類ノ地ヲ盡シテ燒作レリ其ノ燒畠トイフ是也勿用材ニ伐出スヘキ
生木モナク無若ノ山澗ヲ以テ是ニ充ツ其及別ハ在ッテ高ハナシ其年稅

ノ法ハ精米ヲ以テ定メテ金網トセリ其燒畠一及歩ハ二及歩ヲ以テ是ニ
充ルヲ古ノ法トス此餘歩ヲ号シテ代替畠ト稱ス凡テ燒畠ヲ作ルハ田畠
ノ取ト云フ區界ヲモ作ラス其種子ヲ蒔モ地ノ限り畠石ノ間マテモ蒔
ト云フニ成セリ 猶作法下ニ載ス ○凡燒畠ヲ作ルハ先ツ其地ニ生スル
艸木ヲ秋ニ至リ悉ク刈倒シテ其地ニ捨置テリサテ明年ノ春雪ノ解ク
消タルトキニ火ヲ放ソテ其枯タル枝葉ヲ燒ク則其灰ヲ糶トシテ糶ヲマク也
後其實ヲ得ル片糶ノ糖ハカリヲトリテ売ラハ其地ニ致セリ是猶翌年モ
燒テサ托ニ用エハキ為也 ○翌年ハ前年刈倒シ置置處ノ糶ノ穀ヲ燒テ其
灰ヲ糶トシテ 粟ヲ作レリ實ヲ得ルトキ穀ヲ残ス一得ニ同シ則其翌年モ
又粟ヲ売テ燒テ其灰ヲ糶ニ用ヒ蕎麥ヲ作ルヲ終リトス是大槩也故ニ
此三種ニモ限ルヘカラス其土地ニ應シテハ外ノ種子ヲモ作ルト可知 ○以上
三年ニ至ル其地既ニ疲テ種子賣ララス或ハ蕎麥ハ穀モ其地ニ残ラサ

レハ燒ヘキ範モナシ仍テ其地ヲ捨テモトノ如ク梓木ヲ立ルテ凡三年其四年
年ニ至テ又之為リ前條ノ如ク成シ作ルテ燒畠ノ法トスル也故ニ代替畠
ト号シテ初ノ一倍ノ餘歩ヲ與フルト此時地ハ休ト云ヘ凡代替畠ヲ以テ
法ノ如ク作テ民ノ夫食ヲモ不夫年稅ヲ急ルナカシメシカ故ナリ此
外作毛ノ熟スヘキ地ハ新田畠或ハ見取田畠ト稱シテ作ルモ悉ク刈
等シトイヘ凡是ラハ必燒畠ノ例ニハ非スト可知也○倭漢ニ才圖會卷
五十六曰廣韻云畷火田也不耕而火種也漢語錄云橫截山作畠謂
之截幡其先燒後耕謂之燒幡既謂田畷何不耕作下畷

○忌鐵山澗

本土ニ於テ古來鉄ヲ獲ヘ往來致ストテ禁忌トスル山澗アリ但シ太刀刀鎗
長刀ノ類ハ其障リナシ其餘鉄鑿ヲ始トシテ鐵鑿鑄釜ヲ忌メリ其地名
ヲ載ス○佐山文部郡冬野○白川郷同郡○文道寺下吉城郡四鷹利野三河原村ニアリ

○千貫橋同郡高尾野横山村ニアリ ○大坂原同郡吉城郡八日町村ニアリ 以上按スルニ禁忌來由未詳
里民モ其地主ノ神或ハ其山神ノ崇リアルト心得給スル而已也然レトモ
強テ通行スルハ必其地大風吹出或ハ氷ヲ降シ或ハ不時ノ寒冷來テ
作毛損毛ノ凶吉アラト云ヘリ故ニ古來ノ俗習ニマカセテ各首夏ヨリ晚
秋ニ至ルマテハ通行ヲ止メ他ノ道路ヲ往來スルコト古今ニ至レリ

○稻之束數考

本土ニ於テ禾ヲ刈テ一束ト稱ルノ法也是上古ハ國ニ石計及別ナク兩
數或ハ稻ノ束數ヲ以テ稱スル最古記ニ見エタリ然レ凡其一束ノ法ニ
於テハ詳ナラサルカ按スルニ此州ノ民ハ今世モ專束數ヲ稱スルモノ
多シ既ニ已カ所稱スル田畠ノ高及別ヲハ分明ニ心エシテ何百束刈
ノ地何十束刈ノ田ト云ヘリ毎年ノ稻ノ豐凶ヲ語ルモ五束刈ノ田ヨリ
六束ヲ得或ハ四束ニ不及ナント云リ民ノ通語タリ但シ上古ヲ考ヘサ

六此州ノ法ト云へルモ是ニアタルヘキヤ其可否ヲ知ラス唯州内ニ
 般ノ習風タルカ故ニ若古風ノ遺在セルモノカ其大旨ヲノス ○箱一
 把ハ農夫ノ鎌ヲ以テ刈揚ル其掌ノ中ノ一握ナルモノニテ合ヒテ
 一把ト稱セリ是ヲ稱ルニハ外ニ箱ニ株ヲ刈テ箱ホノ方ヲ結ヒテ繩ノ
 代リトナシ稱ル也此繩ノ代リトセシ繩モ同シク一把ノ紐ノ數ニ入
 レリ民ノ通稱是ヲ三手内一把ト云へり此一手ト云イ一握ト云フハ
 大指ト中指ヲ握ラル、迄ヲ限リトス俗中指ヲ六寸指尺イハハ一
 ハ尺六寸圍ホトシテ一把ノ圍九一尺六寸五多ナルカ刈揚ルニハ婦女
 モ是ヲツトメヌレハ大中ヤ人ト平均シテ自ラ中人ニ當ルナルヘシ
 ○箱一束ハ前條ノ一把十數ヲ以テ一束ト稱セリ故ニ箱ヲ始州木
 ニ至ルマテモ總テ一把ト稱ルキハ必此法ヲ用ル也或曰古昔箱六十
 束ノ地ヲ以テ一及候ト定メ六十束ニ不及地ヲ中下田トスト云今世

ノ民ハ此一手一握ノ掌中ニ甚タ異様ヲ巧ミテ年ヲ追テ古法廢レシ
 トセリ是下民ノ私ニシテ全ク一把ノ箱ヲ増シテ其田ノ束數ヲ減シ他
 ニ見スヘキノ為ナルヘシ又越中ノ人ノ語リケル箱一把ハ三手ヲ用ユ
 一束ハ其十二把ヲ以テ稱子ルトナリ濃州ノ民ハ古法三手ヲ以テ一把
 トシ十把ヲ以テ一束トストイヘ凡今世ハ三手半或ハ四手ヲ用イ敢テ
 法ニ拍ラストイエリ

○私呼橋

本土ニ於テ其地ノ民古ヨリ稱シ来ル處ノ号アルモノヲ載以下各ヲ准知
 ○古馬場橋 益田郡宮地村ニアリ 狹古 ○保戸橋 同郡保井 ○古目女橋 同郡
上見村ニアリ或ハ ○道河橋 同郡日影 ○今井橋 同郡真田 ○渚橋 同郡
御前橋トモ云フ ○アサムツノ橋 同郡少及所村ニアリ中及ノ ○松尾橋 同郡
諸村ニアリ長ニ ○阿多箱橋 同郡阿多 ○中橋 大野郡高山 ○鍛冶橋 同上 ○綿橋 同上或
余間棧道ニ造ル ○阿多箱橋 同郡阿多 ○中橋 大野郡高山 ○鍛冶橋 同上 ○綿橋 同上或

法州箱蓋
 未ヨリ舟渡
 天保七座松邊
 天保八座羊考橋

七絶橋有在
下田後宮川
哈城保東橋也

備上毛 ○助六橋同 ○土橋同 ○竹助達橋同 ○楠橋同郡七日町村ニアリ
此方アリ ○鳥屋橋同郡日向 ○清水橋同郡旗舞 ○白木橋同 ○黒谷
橋同郡山岸 ○松林寺橋同郡新張村ニアリ 往古此地ニ ○今橋同郡山岸
九橋同郡山岸 ○七絶橋同郡古川町ニアリ 里人云ク往古ハ ○子貫橋同郡横山
○多田橋同郡吉野 ○坪橋同郡山岸 ○大島橋同郡舟津町 ○高原大橋
同上往古此地江馬家領ノキチ道ニ 作リ凡二十余間アリ今ハ藤橋ニ造ル也 ○有川橋同 ○折橋同郡朝浦

○私呼坂

○栢坂同郡安ヶ ○行人坂同郡豊田 ○門坂同郡門坂 ○小綿坂同郡郡者
往古小綿トイフ陶師居任ノ ○城坂同郡高山 ○御坊坂同 ○衣斐坂同
把ナリ則小綿境ト稱セリ ○文右衛門坂同 ○小坂同 ○長坂同 ○菅蒲坂同郡松之水
坂同郡三福 ○爺坂同郡八賀町 ○雁坂同郡細敷 ○金坂同郡塩屋 ○大
坂同郡八日 ○鶴寮坂同郡角川 ○碩城坂同郡杉中

○私呼木

○瀬戸梅同郡瀬戸村ニ ○圓座杉同郡久野川村ニアリ 和入云ク凡ニ圓座木ト号
リ是山神ノ 居木也ト云フ ○枝幸栗同郡兼政村ニアリ 其枝地ニタレテ 榊枝ノ如シ里人云ク ○圓
座松同郡中呂村ノ山ノ坊ニ ○唐木同郡富田ニアリ 其由未詳 中古松テ ○王ノ御
堂櫻同村藤ノ森ニアリ 未詳 院新養堂ノ谷下ニ出ス ○逆杉同郡花里村白山神祠 ○乳親杏同郡
町村同分寺 境内ニアリ ○千歳松同郡西凡十二間南北凡十三間全在左木也 ○御影櫻同郡吉田村
蓮寺境内ニアリ ○荒神松同郡長倉村ニ 秘云長倉松天保九成西足 御用杖之時松伐取也

○私呼森

○屋形森同郡總嶋村ニ ○サ藤ノ森同郡宮田村王ノ御 ○守屋ノ森同郡江名子村ニアリ
権者ノ森 此方ナリ ○指置森同郡アノ子安 ○淨光寺森同郡花里村ニアリ 産 ○天満ノ森
同郡神祠 部ニ出ス ○總社森同郡七日町村ニ 出 ○辻森同郡上園本村ニアリ ○釜ノ森同郡三
ニアリ 里人云ク昔盜賊此森ニ入リシ ○薬師ノ森同郡山田村ニアリ ○八幡森同郡地
カ終ニ出ス故ニ盗人神ト云今神祠ナシ

アリ八幡ノ祠アリ里人云ク古昔此地悉田ナリシニ一夜ニ其箱蓋テ杉木トテレリ今世ノ
喪是也下時神告テ宜ク我ハ是母衣ノ神也トナリ仍テ祠ヲ建テ八幡ノ宮ト稱スト云フ其代未詳
○河伯森 吉城郡言也村ニアリ河伯神祠アリ昔
同郡岩手村ニアリ山王
石動兩神アリ神祠部ニ出ス
金桶森 同郡金桶
村ニアリ ○山井戸森

○私呼水

○麝香水 益田郡中坂町村字麝香水谷ニアリ
里人云ク昔此水ニ香氣アリ故ニ稱ス
○清水 同郡根方村ニアリ里人云ク同郡日面村出羽平
ノ崖中ノ水此水ニ涌出スルトイヘリ
○白水 同郡平瀬村ニアリ此山洞ノ
イ字ヲ大白川白水谷トイヘリ里人云ク加州白山神祠ノ
神供米ヲ洗フ水此水ニ流シ垂ルトイヘリ
世里人云ク往昔弘法大師加持シタメイテ
涌出セシ聖水ナルト云ヘリ瓢尊未詳

○私呼瀧

○根尾瀧 益田郡少坂
町村ニアリ ○觀音瀧 同郡大洞村ニアリ或云感德ノ滝里人云瀧臺ノ
岩壁ニ觀世音菩薩ノ尊容アリ通拜スルアリ ○千
尋瀧 同 ○塩瀧 同 ○石南瀧 同郡青屋村ニアリ此
地石南花多シ故ニ名トス ○八日所瀧 大野郡
○不動瀧 結城郡指
岩壁ニ不動ノ尊容アリ ○舊白瀧 同郡雙六
村ニアリ

○阿房瀧 同郡平陽村ニアリ里人云ク左末口碑ニ傳フル必此瀧高七寸金尋アリ其瀧
毒甚ク深シ落来ル水ヲ吸込ス風至テ是クシテ常ニ雨ノ降ルカ如クトイフナリ
○鼠籠瀧 同郡鼠籠村ニアリ里人云ク此山神馬ニ乘リ滝ノ
ノケリヲ遊行五フ故ニ適尊、音開ユルト云ヘリ

○私呼瀧

○漆瀧 益田郡三瀧村ニアリ此瀧ノ底ニ
瀧ニ出テ馬ヲ
洗ヒ玉フト云フ ○曲瀧 同郡日影
村ニアリ ○朴木瀧 同郡中之
○赤巖瀧 同郡大
西村ニアリ ○青木瀧 同郡落合
村ニアリ ○四十九瀧 同郡上切
田村ニアリ ○大瀧 同郡カ川
村ニアリ ○畑佐瀧 大野郡新宮村ニアリ畑
先トイフ古城山ノ麓ナリ ○二
面瀧 同郡千島
村ニアリ ○二子瀧 同郡石南
村ニアリ ○経瀧 同郡渚
村ニアリ ○藤瀧 同
同郡宮村ニアリ瀧ノ側ナリ岩
ニ馬ノ蹄ノ跡アル故ニ此名アリ ○琴瀧 同郡根方村ニアリ瀧
アリ又瀧ノ底鳴ル
アリ琴ノ音ノ如シト云
ノ底ノ砂石先リテ青貝
ノ如シ故ニ此名アリ ○石南瀧 同郡三谷村ニアリ此地
百南花多シ故ニ此名アリ ○青貝瀧 同郡赤尾水
村ニアリ ○安女瀧
同郡大無根村
同郡大無根村
同郡大無根村

○檜瀧

同郡大無根村
同郡大無根村
同郡大無根村

アノ竜ノ
足跡ト云フ
○貝淵 同郡加賀
○雁淵 同郡羽根
○瀑布淵 同郡高野村アリ
流テ布ノ如ク
○挂教淵 同上天正年中益屋筑前守ト三木大和守於此地合戦、并三木家
致ニ此号アリ 桂川五良左衛門益屋家士逸見挂教院兩人此川ニ於テ鎗ヲ合セ
逸見終ニ桂川ニ討ル
○圓齋淵 同郡八日町村ニアリ 里人ニク音圓齋ト
自是此号アリ 云モノ此淵ノ側ニ住セリ 故ニ此号アリ
○玄巖淵 同
○望淵 同郡西添山村ニアリ 淵ノ側ニ地蔵ノ石佛アリ 里人云ク
古皆ヨリ 毎歳七月十五夜 淵ノ底ヨリ 龍燈ヲ捧ク
○光淵 同
同郡吉ヶ原村ニアリ 淵ノ側ニ魚鱗
ノ如キ紋アル石アリ 故ニ此号アリ

○私呼出巖

○鳴巖 益田郡三淵村ニアリ 路傍ニ大岩アリ 其岩中常ニ流水ノ音アツテ 止ムコトナシ
故ニ此号アリ 凡テ州内ニ水辺ニ石在ルコトイハレ如是響アルモノハ未聞也
○重岩 同郡大市
○不動川鳥帽子山 同郡田口村蛇尾村ノ間ニアリ 岩ノ形鳥帽子ニ
流ナレハトテ村民
○乳岩 同郡福来村ニアリ 岩ニ乳頭ノ如キ形アリ
是ヲ不動川ト呼リ 乳汁ナキ婦女此ニ祈念シテ必乳汁出ルト云
○玄岩 同郡立岩
○両身岩 同郡落合村ニアリ 兩鳥多ク此岩ニ集リ宿ス 故ニ此号アリ
兩燕或ハ兩乞鳥トモイフ也 兩降ナントスル必村里ニ出ルナリ
○暮岩 同郡日和田村
英ヲ張タルカ如ク木留ニ義仲 兩降ナントスル必村里ニ出ルナリ
膝カケ石ト云モ此号ニアリ 同郡大西村ト大野郡久々野ノ境ニアリ 古昔兩郡ノ領主
シト約シテ此地ニ行合フト云 故ニ此号
アリ 阿多野人々野面郡ノ境ナリ 同郡志沼田村ニアリ
○鳥帽子山石 同郡志沼田村ニアリ 其形正ニ似タリ
○黒岩 大野郡三
福寺村在

○七夕岩 同郡五明松ノ本村而山上ニテアリ 兩村民毎歳七月六ヨリ七夕ヲ祭ル 故ニ此号アリ 是五穀
豊熟ノ季礼ナキニ定例ナルト云 其式ハ山上ノ岩ニ繩ヲ張り 燈籠又菫花ニ造リ物ヲ
懸ルニテ是
○桶岩 同郡龍村
○船岩 吉城郡船屋村
○三岩 同郡三川村ニアリ 石ニテ
里人ニク古昔此石ヲ掘出サントセシ
○横岩 同郡三川村ト上野瀬村ノ間 路傍ニアリ 古昔此道ヲ
其根深ク終ホリ出ヌトテ 得ヤルトナリ 天正年中 其岩ヲ切明シテ
今世ノ路道
○乙姫岩 同郡三川村ニアリ 岩ノ面ニ竜神ノ
ヲ作ルコト云
○三岩 同郡下流谷村ニアリ 毎歳ノ梅雨中ニ蛇蛭蟻輪ノ三虫出ルニ並ニ出ツ 里人云ク 往
アリ 同郡下流谷村ノ人有故テ當外ニ暮リ此山洞ニカクレタリ 旧里ニ三岩アリテ 幸ニ行衛
ヲ尋テ諸州ヲ巡リ 通此州ニ暮ルトイハレ 其人ニ逢スニテ
三人共ニ終ニ死セリ 其亡魂ナルト云フ 今世ニ逢来ル人見セシテ
○壘岩 同上里ニイクモ
○篋岩 同郡長倉
○足跡岩 同郡敷河村ニテ足跡アリ 則
積重タル似タリ 岩面ニ大キナル足跡ノ如キモノアリ
○鯉岩 同郡三屋村ニアリ 岩高
○金剛岩 同郡平湯
○鳴岩 同郡大無村
二更ノ如ク如キモノアリ 岩面ニ大キナル足跡ノ如キモノアリ

○私呼石

○義仲ノ腰懸石 益田郡日和田村ニアリ 木曾義仲此地ニ化スト云 是飛州
信州ノ境也 義仲ハ先主義賢ノ男 左馬頭朝日將軍ト稱ナリ
○龍石 大野郡福来村ノ音カ峯ニ
○杖石 同郡細越
○江馬ノ腰懸石 吉城郡
改ニ此号アリ 大野郡福来村ノ音カ峯ニ
○杖石 同郡細越
於此地敗軍ノ所 此石ニ腰ヲカケテ自殺ス 猶重長部ニアリ
○鈴石 同郡高野村塔ノ城 高
アリ 石高サ凡ニ足七尺寸

鐘石 吉坂郡黒内村在
 此石の始興記曰縣下流
 有二石室一在石下流
 一在石上流此石之
 動石大野浦白川
 毎年中三在五人處之
 ラニレキモモコカニ
 テニレキモモコカニ
 ナレニ甲三ノ知者
 長二丈以半指之動
 長二丈以半指之動
 長二丈以半指之動



吉中吉城郡小野名村

高五尺

上平之然九寸一糸
 下先渡或已余種

圓瓦上ニシテ三尺六寸中丸四尺三寸ハカリ其性堅ク色青ク胤色ニ白キ紋多ク古昔ハ雌雄
 両石アツテ當ニ由氣ヲ吹ナリ然レ中古州内早懸ノ時清風ノ所トシテ一石ヲ此山洞ノ際ニ沈
 ム忍チ雨降ルトナリ
 ○虎石 同郡古川町圓光寺ノ
 ○吹子石 同郡平岩村ノ中名敷治
 夫ヨリ一石ト成ルト云
 同郡新石村ニアリ此所岩ヲキリ後テ今ノ道トセリ
 ○大石
 子ノ如シ
 ○割石 同郡新石村ニアリ此所岩ヲキリ後テ今ノ道トセリ
 未申詳
 同郡伊西村ニアリ往古ハ大石
 ○雙六石 同郡双六村ニアル大石也里人云ク石裏ニ雙六
 村ト云今ハ伊西村ト云フナリ
 ○杖石 同郡長倉村ニアリ杖石ノ弁文天ト
 ○矢石 同郡葛山村ノ山洞ニ流テタマク
 イフモ他州ノ説ト同
 此形ハ柳ノ葉ノコトト
 同郡葛山村ノ山洞ニ流テタマク

○私呼田

國説ニ云ク飛彈ノ車田ト号シテ稻苗ヲ植ルニ往古ヨリノ作法アリ其
 謂ヲハ里民モ知ラストイヘ凡古今其法ヲ闕ス由来アルハヤ支ナリ
 ○車田 大野郡大八賀郷 此田ニ苗ヲ植ル法ハ先ツ稻苗一把ヲ田ノ中央
 松ノ木ヲニアリ
 ヲク夫ヨリ苗ヲ凡ク巡リテ植ル也サチカラ菅笠ノ縫目ヲミルニ等シ里
 氏ノ口碑ニ傳フル処古昔禁裡ノ御田地ヲハ佃田ト稱セリ後伊ノ米

ヲ作ル田ノ植マウナル凡云ヘリ猶多ナルニ不及
 ○飛彈横田 柳在
 狂言歌麈之章句ニ飛彈ノ横田ノ玉苗ヲシヨボリシヨボリト植テ行ク
 按スルニ本土ノ田畠ノ字或ハ村ノ小名等ニモ横田ト云ヒノ未
 知
 物産

○材木名品 是通稱 附 鞍鹿通稱

本土ニ於テ古今伐出ス處ノ材品ヲ載ス材木ハ總名也是ヲ分テ云
 角物平物赤口物次ニ板子丸木也是ニ修羅木等ノ号アリ猶一品ニ
 随フ妙ノ雜品又多ク詳ナルニハ不及
 ○角物凡テ大中小凡ニ古木作り
 長二間以上何寸角何尺角ト稱スル是也○平物凡テ大中小凡ニ幅ト
 厚アリ長二間以上幅何寸厚何寸ト稱スル是也○赤口物凡テ大中小
 トモニ圓木ニ作り赤口何尺ト稱スル是也
 凡大中小木ヲ赤口物ト云ハ木ヲ皮ヲ
 剥タル後ニテ赤口何寸ノ丸木ト云ハ
 圓木ニ削リ
 圓木ニ作ルハ則チ六面ニ作ルヲ法トス以上ノ三品其木性ハ
 作レニアラス

檜ヒノキ檜ヒノキ松マツ挂栗ケイリス姫子也檜ヒノキ檜ヒノキヲ上品トス其金カネの雜木ト云イハホ口物ノ外ハ角平物トモニ必木ノ中真ヲ去リ作ルヲ割木ト稱シテ木製也其中真ヲ去ラス圓木ノ終ニテ作ルハ押取トスヘリ雜製也○板子凡テ大中ウトモ幅ト厚アリ平物ト同シ長六尺五寸ヲ法トス其水性ハ檜ヒノキ檜ヒノキ黒部クロベ檜ヒノキ松マツ姫子ヲモ用ユ又竟粉ト云モ同製也○修羅木凡テ雜木ヲ以テ雜製ニ作ル材木也是ハ上品ノ材或ハホ口等ノ大材ヲ出スニ用ユル助木也山間嶮岨ノ地ニ是ヲ鋪テ通行シ或ハ岩石ニ當リ木ノ痛ムヘキニハ是ヲ以テ隔ツ猶用法甚多シ常ニ岩石ノ為ニ敷ハシムル故ヲ以テ修羅木ト稱シ表ルモノカ○材木通稱元伐凡テ山中ニ於テ諸木ヲ拙人ノ伐出スヲ云フ或ハ根伐ネバ取木取トモ云ヘリ皆同稱也○元口凡テ木ノ根ノ方ヲ云フ○木亦凡テ木ノ末也ホ口ト云ニ同シ○女止元口ホ口トモニ細ヲ通スヘキ元ノ名也○頭巾

凡モト末トモニ頭巾ノ取ニ作ル也女止頭巾トモニ其材木間尺ノ餘歩ナルモノナリ○卷鉄大材ニ至テハ其木ノ元末ヲ鐵ヲ以テ巻ラ云是又間尺ノ餘歩ナリ○鞍疵通稱カサキ箆シヤキ齋シヤキ此カサキ瑕シヤキ疵シヤキハ生木ノ時枝ノ折タル處ヨリ生セシ真ノ齋也○引拔生木ヲ伐故スキアヤマツテ倒ルホマ真ヲ伐故サル故ニ真ハ根ノ方ニ止マルヲイフ○麥殼虫ノクセタル元ヲ云麥殼ノ切口ノ如シ○木子廻木目ニ自然ト水氣ヲ含ミテ真ノハナレトスルヲイフ○水割木目離レ真離レタルヲ云○紅木性府齊ルトキ木ノ色変ルヲ云フ○飛齋所々ニハ齋出タルヲ云○石打岩石ニ當リタル痕也○胴打石打ニ似タリト云ハ尺是ハ真ニヒビキタルモノ也故ニ折木ニ准ス○懸外曲アル木ヲ方木ニ作ルトテ墨繩ヲ折ワタスニ曲レル所ニハ墨墨ヲス○乃太懸外ト云墨ヲ至ラサル處ニハ斧モ又至ラステ皮同殘レリ是等其始ノ寸歩ノ減スルヲ惜ム

杻人ノ私ヨリ生セリキスト云 ○擗^{キツ} 角手物トモニ自然ト捻^ユタル如キ邪アルホラ云フ杻人ノ不切ナルモノ掌中正シカラサル故ニ不直ノ材トナレリ 瑕瑾トス ○日本産子國華萬葉集等飛列名物部ニ^{ヤキ}圭桔ヲ載ス今作擗

○搏木名品

本ホニ於伐出ス処搏木ハ檜楫黒部ヲ出ス凡テ圓木ヲ四ツニ割テ其真ヲ去木口形扇ノ地紙ノ如長サ六尺ヲ限リ四尺ヲ終リトス其寸法ハ三方何寸腹何寸ト云大中小モニ此法ノ不闕圓木ヲ四ツニ割ルニ因テ三オアリ中真テ去ルニヨツテ腹アリ大ヲ古法トス又ニ方何寸甲何寸腹何寸ト云フモノアリ長ハ三方ノ法ト同是ハ圓木ヲ六ツニ割ハツニ割ニヨツテ左右ヲ二方ト云イ背ヲ甲ト云フ腹ハ中真ノ方也是中古ノ法ナリ猶雜製ニ至ツテハ尾ト云フノ類其品多シ詳ナルニハ不及 ○其佐俊家集ニ夜ヲ口ス如出川ニ

ウキ泥^ニ君ニ遊フヘキクレヲ待カナ以上 按スルニ搏ハ字書ニ見エヌ是中^ニ華ニ其木ナキヤ或ハ名稱異ニシテ知カクキモノヲ又搏ハ字書ニ其ニアリ防無ノ切音技搏柔ハ神木ナリト ○新刊五世妻籠卷第十^{天治十六年七月十八日}先之右御蓮歌^{右大将家上}曰於橋本驛遊女等群參有^給多賜物云云先之右御蓮歌^{治之舎下ニ}頼朝ハシモトノ君ニハ何カワタスヘキ 平景時 タツソマカハノクテスキハヤ橋本^{橋本} 江國^{江國} ○新刊五世妻籠卷第四十三^{十月十一日}丙辰被定判賣直ノ法^{修下曰}和賀江津村木古^近年不法間^依難用^造作^被定^其寸^法所謂搏長^{八尺}若^{七尺}今不足者^全照定之^奉行人可申子細之由云

○材木搏木出他州運漕通稱^{中細}之制

本ホ山中ヨリ材木搏木ノ他州ニ出ス處ノ其次第ヲ載ス ○山^山出^出凡^凡テ山中ヨリ材木ヲ出ス總名也 ○渡場 山中^所々ニ於テ伐出セル者ヲ其便宜ノ地ニ集ムル處ヲ云也 ○渡入 渡場ニアツンタルモノヲ初メテ

谷川ニ入ルヲ云也 ○谷出谷川ニ入レテ大河ニ至ルマテハ遠近ノ差別ナ
ク谷出シト云フ ○川下^{カケ}大河ニ浮メテ流シユク處ノ總名也是ヲ彼スル
人一日ニ流シ行クハ千里數ヲ計リ其所ニ網ヲハリ止ラ牧ト云イ將網ト云
○川將川下共ニ同稱也是岩石ニカ、リテ滯ルモノヲハ葛口ニテ悉ク
束メ流シ行也是等山野ノ將^ナニ准ヘイテ下俗ノ通稱也 ○管流 是
モ上ニ同シ諸水流シユクアリサマ水上ニ管ヲ乱シタル如シト云フ下民ノ
通稱也凡テ此州山澗ノ流シ早ク岩石多ケレハ筏ヲ用ルコト叶ハスシテ古
今新ノ如シ猶詳ナルニ及 ○中網 益田郡下原町ニアリ是飛濃ノ
国界タルカ故ニ河中ニ藤ノ網ヲ張り巨シ川下ノ諸水ヲ是ニ懸止メテ再
員數ヲ改正スル處ノ本網是也猶^シ口藤ニテ造ル其周ハ尺有餘其
長ハ九十番間アリ水上ニ直ヌ所六十餘間也其餘ハ兩岸ノ網株木網
株^ニ結ヒ固ムルナリ猶水上ニ直ル網ノ法下ニ載ル如シ ○網株木

岸上ニ樺ノ大木ヲ建テ杭木トス網ヲ是ニ卷テ其末ニハ大石ヲ置ク
○網株木 岸上ニアル處ノ大當ナリ 株木ト同シ ○浮木 網ニ附ル
處其數六十各長ニ間六寸角ノ材木ヲ用ユ ○網固筏 樽^ヲ以
筏ニ組網ノ所々ニ附テ浮木ノ助木トセリ ○木履木 ○押木 ○執
柄木 ○宙^ア美木 以上ノ四品各材木ヲ用ユ悉ク網ニ附テ拵ク如クニ
造ル猶^ハ藤ヲ以テ結立ル也 ○箭木 網ノ上ニ建ル材木也駒寄ト
云フモノ、如シ是川下ノ時若満水シテ數カノ諸材悉ク此中網へ押
カケルト云フ凡此箭木ニ盛上テ大山ノ如ク成レル故ニ至テ要材ナリ
○箭頭卷^テ芋網 箭木ノ頭ヲ繫ク網ヲ云フ ○胴織^テ芋網 是品
品ノ用材ヲ悉ク其初メ藤ヲ以テ本網ニ結ヒ附タルヲ猶又芋網ヲ用
ヒ全ク繫キ固ムルヲ云フ ○柘^テ芋網 本網ニ幾筋モ附テ岸上引
ハル處ノ助カノ網ヲ云フ也 以上中網ノ製如此則此処ニテ山中渡入

ノ員數ヲ以テ流失ノ有無ヲ改ニ又エノ如ク河下ニテ濃州加茂郡
 下麻生ニ至ル飛州下原中網ヨリ濃州此處ニ仮組ヲ儲ケ其木ヲ上ラ
 初メテ後ニ組自是尾州知多郡白鳥溪ニ至リ渡海ノ廻船ニ積テ
 諸州ニ通用スル也濃州下麻生ヨリ尾州白鳥溪

○筏ノ制

筏ハ濃州下麻生ニテ初メテ組立也全ク飛州ノ業ニハアラフト古来
 飛駟筏ト稱ス其筏ヲ組テ乘ワル人ヲサシテ筏士ト云フ筏ノ丈巾ニ
 ヨリ二人乘三人乘アリ凡テ筏ニ用ル處ノ藤並ニ用材ノ通稱ヲ載
 ○縫藤 ○腹帶藤 ○釣帶藤 ○引狩子藤 ○目結藤以上
 ノ五品ヲ以テ木ヲ拵ツカカラミテ筏ニ組立ル藤ノ名目也 ○覆束木
 ○大木 ○執柄木 ○鹿木 ○檜ツツ木以上五品ハ筏ノ上ニ備フル
 用材也 ○番木 ○番板 以上ノ二品ハ筏ノ第一等ニラ書ス同木

數ヲ記セリ ○檣カ筏ノ前後ニ二挺立リ木性ハ檣カ最上トス但シ
 船ニ用ル檣カ非ス擢也 ○檣カ泥木 檣カ臺木也

○白木品類

木上ニ於テ白木ト稱スルモノハ材木樽木板子等トハ別種ニシテ各
 其品ノ下地ナルモノ也故ニ拵ツカタルマ、割タルマ、出スモノ、總名也木性檣
 檣カ檣カ檣カ朴ク檣カ檣カ其餘ノ雜木ヲ以テ造リ出セリ古来山中ノ民男女
 トモニ生業ト成シ来ルツカ久シ其品類各目ヲ列ス ○赤土井板 ○土井
 板板 ○子板板 ○三子板板 ○菅板 ○菅樽板 ○打割板
 ○拵ツカ板 ○半切拵板 ○天井拵板以上十品寸尺古法アリ ○大縁木
 ○小縁木 ○輪木 ○淘汰木以上四品拵ツカ檣カノタ ○開折敷山折敷
 ○室蓋彌蓋 ○檣ツツ芝再垂笠ト云フ本ヲ割 ○拵ツツ木拵ツツ木 ○木舞木
 竹シキ皮ニ木ヲ ○楨皮楨ノ木 ○白木白木樽木磨 ○引鉄木鉄ノ
 ワリ竹ノ代リトス 皮ナリ ○白木ニ作ルキ本也 ○引鉄木柄ニ

作ル
木也

○箸木 食用ノ

○二面楊枝木 樽ノ枝ヲ用ニ本ノ色ハ白ク真ハ赤シ

○朴翹木 腰カノサヤニ用ユル木ナリ

○木地挽 食用挽ノ木地ナリ

○徒然文段抄 亦二百日

○桶木 大ノ桶ニ作ルヘキ下

或人ノ許ニテ琵琶法師ノ物語ヲ聞カントテビハヲ召ヨセタルニチウ

ヒトウヲチメリシカハ作りテツケヨトスフニアル田カノ中ニアレカラズト見ユ

ルカ古キヒサウノ柄アルヤナトイフテ乃至ヒサクノ柄ハヒモノ木トカマ

ヒテヨカラズモノニトソアルヲ人ハ仰ラレシ註云ヒモノ木樽物師ノツカ

フ木也白木ト云フモノ也 以上 扱スルニ白木ト云フハ凡テ物ノ木地

又下地ト云フ心穀或云梅抄ノ柄ハ死刑ニ用ル法アルトナリ故ニ本

文ニヨカラズモノト出タルニヤ

○楮造紙名品

本工ニ於テ楮テ作ル一一般ナラズ多ク山ノ村里ニアリ造紙ハ

危州ニ出スニハ非ズ國用ニ足レルノミ

○無雁紙 吉城郡中島郡又中鷹利郡ヨリ出ル

○不端切紙 同上

○大切紙 吉城郡中鷹利郡ヨリ出ル

○小切紙 同上

○大長紙 同上

○杉原紙 同上

○蓄蚕 羌通稱附 種子名品

本土ニ於テ蚕ヲ養フハ毎歳八十八夜ヲ斯トス種子ハ卵ヲ紙ニ産ム

ルモノ是妙也此卵紙ヲ室蓋ニ入レヨク蓋ヲ覆ヒテ衣版ニ包ミ燻

邊ニ置ナリ凡七八日ヲヘテ卵字リ出ツ是蚕也在何地ノ寒ク暖

ニヨリテ日數十四五日ホドヲ遅速アリ猶養フ処ノ通稱ヲ載ス

○一番掃 ○二番掃 ○三番掃 以上ノ稱ハ紙上ノ卵ノ字リ

出ル一一般ナラズ故ニ先ツ字リタルヲ鳥ノ羽ヲ以テ別ノ器ニ掃

移スヲ云ヘリ其羽ハ崎鳥ノ羽ヲ最上トス又雌雉子ノ羽ヲモ用ユ

○桑水 蚕生シタル其初メハ桑ノ芽ヲ掃テ養フ云フ

○蒼

蚕生シテ五日程ヲ経テ桑ヲモ不食慾ムヲツボムト云イ又夜ヲ
 脱トモ云フ此時空蟬ノ如クニ皮ヲ脱出ル一三度也是眠ルナルニ
 ○一起 夜ヲ脱出ル一三度是ヲ一起二起三起トイフ ○底一
 起ヨリ後ハ蚕ヲ入ル處ノ男四ニ糞多シ是ヲトリ捨ルヲ底ヲトト云
 フ也 ○庭起 三起ノ後ヲ云フ ○貴桑 庭起マテハ桑ノ葉ヲ
 刻ミテ養ヘリ其後ハ葉ヲ刻マス五日ホト養フヲ貴ルト云フ
 ○雇 貴桑ニ至ツテ蚕肥滿ツ既ニ窠ヲ造ルヘキ出ラハ撰テ別ノ器
 ニ移スヲイフ ○鋪 別器ノ中ニハ木ノ枝或ハ藁ヲ鋪テ云ヘリ
 是ニタヨリテ窠ヲ造ルタメ也 ○窠搔 敷タル枝葉又藁等ニタヨリ
 テ出ノロヨリ糸ヲ吐窠ヲ作ルヲ云フ ○網 窠搔一凡三日程ニ
 テ終ル是網ナリ其虫一匹ニテ作テ小網ト稱ス上品也二虫或ハ
 三虫ニテ作ルヲ大網トイフ 中下品トスル也 ○網盛 其一家ノ

名三綱 蟬 蠶 土人ヒルト云

網ヲ一匹ニ集ムルヲ祝シテ盛ト云ヘリ其後日ニ于乾ス一凡三日程
 ヲ経テ糸ニ引キ綿ニ作リ日ニ于ス夏ハ網中ノ出ヲ殺スマメ也
 斯クイタサバレハ網中ヨリ食イ破リテ出ツ其網ハ必性弱ク免
 澤ヲ失イ用ルニタラサル也 ○春蚕子種類名目 金柑子
 大藤五 大日野 小日野 金丸 石丸 清光 森林
 越前 近江 綿親 以上十一種アリ初メ其種子ヲ得
 ルニハ網ノ性ヨキモノヲ撰ミ器ニ入レ蓬ノ葉ヲ上ニ覆上リ日ヲ経スニテ
 網中ノ虫網ヲ破リテ出ル處白キ蝶ナリ是ヲ國名此久ト云フ雌雄ア
 リ則器ノ底ニ白紙ヲシキテ其雌雄ヲ入レ置ケハ悉ク紙上ニ卵産メ
 リ産終レハ蝶ハ雌雄トモニ死セリ食不飽也 ○夏蚕子種類
 小瀬 熊 越中 日野 以上四種アリ其種ヲ得ル次第ハ
 同法ナリト云ヘ凡前等ノ種子ヲ此夏用ルニハ非ナルナリ先ツ前

羊ノ夏蚕種子ヲ以テ春蚕ノ時同ク養イテ親ヲトリ其親ヨリ得タル種子ヲ以テ則其夏養ヘリ是春夏ノ兩蚕ノ種子ノ異斯ノ如シ猶親ノ大小善惡等ハ絲綿ノ糸下ニ出ス ○汝石集曰 世ノ中ハ思ヒシタレテ夏引ノイトハ又ホトソクマシカリケリ ○日本紀雄略天皇命螺蠟聚國內蚕ヲ ○續日本紀曰 和同七年二月辛丑始令出羽國養蚕 ○本綱蚕病風死其色白故自死者名白殭蚕死而不再養者曰原蚕古 天虫屎曰沙皮曰蛻變曰繭味蛹曰蠃鱗蛾曰羅卵曰蛻蚕初出曰紉音 蚕紙曰連 其種類甚多有大小白身斑色之異屬陽喜燥惡濕食而不飲三眠三起二十七日而老自卵出為蛾自蛾蛻而為蚕而繭繭而蛹蛹而登臺而卵卵而復蛻

○絲 并 綿 附 飛 驒 細 原 袴 之 製 本 土 於 於 親 ヲ 糸 引 八 蚕 子 糞 ヲ 燒 其 灰 付 以 親 ヲ 煮 之 程 能 キ

時ニ竹ノ箸ヲ入ル是ヲ和シハ自テ絲ノ口箸ニカハリ出ルヲ獲ニカケニ跡トキ也凡テ婦女ノ業トス猶下ニ載ル如シ ○小絲 是小親ヲ用テ親中ノ出一ツ中粒ナルモノ也性強ク光澤ヨク然モ第ナシ上品トス ○大絲 是大親ヲ用テ親中ノ出ニ或ハ三ツ大粒也其性曾テ中絲ニ及ハス左光澤者リ第アリ中下品トス 梅スルニ一虫ノ親ハ小粒トイハレ絲同多クシテ大粒ニ等シ是虫ノ性剛健ニテ他カヲ不用一親ヲ造ルナルハ性強ク潔白ニシテ光澤宜シク第生セリル也又ニ出ニ出ノ親ハ大粒ナリト云ハレ絲目文ナケレハ小粒ニ等シ必性弱ク光澤少クテ第多シ是等出ノ生得虚弱ニテ他カヲ不用一親ヲ造リ出スニヤ共ニ未多明又此第ノ生入ルト云フ一其故不審疑フラクハ蚕ノ口ヨリ絲ヲ吐クニ二虫三虫ノ時ハ出ノ口自然ト行合イテ其呀ニ至テ必第トナルカ一虫ノ親ニ第ナキヲ思ハハ也 ○真綿 凡テ大親或ハ綿親ヲ用テ是ヲ綿ニ造ルハ親

ヲ煮ルテ絲ノ法ニ同シ其煮タル處ノ纈ヲ破リ申ナル虫ヲ捨テ廣ク
延テ幾ツモ重子圓キ版ニカケテ綿一尺ノ形ヲ造シリ仍テ是ヲ版
綿トイヒ臂綿トモ云ヘリ ○飛驒紬 二品アリ一ハ諸紬ト云フ縦横
尺ニ綿絲ヲ用ヒ各摺絲也又ハ八丈紬ト云フ縦ハ本糸ヲ用イ横ハ綿
糸也 摺スルニ八丈ノ号未解庭訓律未ニ尾張八丈ト出タリ近國故ニ是
等ヲマナヒタルカ今世ハ尾州ニモ八丈ト稱スルモノナシ後世之虞セシモノナル
カ ○常禱飛驒驛平ト云フ

○批目細工

本工ニ於テ批目トイフハ榎木ノ版目ヲ用イ其批目ヲ顯シ鋸ヲ用イズ
シテ作り出ス木地或ハ溜塗ヲ用ユ古來國産ノ一種タリ中古迄ハ領主毎
歲東都ニ貢獻セリ今ハ其ノ絶ス古來ノ品ニ種也下ニ出ス ○湯桶
桶器 ○片口水炊 ○麴桶水コホ 摺スルニ其權輿未詳疑フヲクハ

金森領國ノ時宗和居士ノ好奇ヨリ出ルモノナルヘシ字和ハ出雲守可重
重近入道是也後有改而高都ニ開居ス
茶道ニ專シ以上ノ三品常和形トイフ 又近世ハ此三品ニ限ラズ人ノ好シニ
應シテ外ノ品ヲモ造リ出セル也

○茶

本土ニ於テ製スル處ノ茶也其出所ヲ載ス ○栢木益田郡萩原郷中
呂村竜澤山禪昌禪寺製 ○栢木同郡下原郷中切村要仲山玉竜禪
寺製 ○亀井同郡同郷中津原村神龜山萬福禪寺製 ○下山
同郷馬瀬郷ノ村里ニ於テ製ス

○藍

本土ニ於テ作ル處ノ藍也大野郡河内郷吉城郡高原郷ノ村里ニア
リ國用ヲ足レルノことを其性宜シ

○鷹

本土ヨリ出ス処ツバ鷹ノ窠鷹也古来國産ノ第一是佗州ヨリ来ルニハ
アラヌ本土任来ノ鳥ナル故ニ俗呼テ窠親ト云フ猶通稱ヲ載ス
○おエワタシ 窠ヲカケル也春ノ彼岸ヲ始トス ○卵 産丁凡四
月ノ節ヨリ中ノ前後ニ及ヘリ卵ノ數一ヨリ五ツニ至ル ○窠下ツバ 窠中
ヲリ下ス六尾羽ノ一生半ヲ見ル時ヲ朝トス故五月ノ半ヲ要トセリ然レハ
年々一定ナラス ○窠廻 窠ヲホレテイヘリ窠ニ下同 ○渡鷹 是
大鷹鷲且餘ノ小鷹毎歲秋ノ彼岸同土旺ノ頃佗州ヨリ来テ云フナリ
猶詳ナルニハ不及又古昔此州ニ於テ大鷹鷲ヲカケ巣鷹ニツラ得タルト云
フ仍テ真山ヲ大鷹山ト稱セリ年代未詳

○金銀銅鉛

本土ニ於テ金銀銅鉛山ハ大野郡白川郷吉城郡高取郡ノ山中ニアリ各
古昔掘出ス處ノ跡也其初メノ年代未詳終ニハ寛永年中上聞ニリ今世ニ
其道ニ携ル族是ヲ裁ク勤ムルトイヘニ未甚クテ得ザル也

○柴薪 附 國名

本土ニ常用ノ薪也通稱ヲ載ス ○柴 柴木ト云イおエ穂技ト云フ又
穂木ト云ヘリ凡テ枝葉トニ用ル小木也佗州ニ麓糸ト云フニ同シ
○薪 木おエト云イおエ梢ト云フ又春木ト云ヘリ共ニ總名真木ト稱ス其
木呂ト稱ハ太シ短ク作ル春木ハ細長シ

○炭

本土ニ常用ノ炭也吉城郡ノ山中ニ炭竈アリ凡テおエ穂木ヲ以テ燒出ス
其性甚輕柔也國用タレルノ也

○古今藥艸 名品 附 國名

本土古昔ノ藥草九種アリ 延喜式卷第百三十七典藥寮貢之條下
曰飛驒國九種 芍藥九寸 當歸十寸 菴闍子四寸 白朮亦寸

藜蘆 十斤 白礬石 一升 猪蹄 三具 羚羊角 一具 牡衡 十斤

以上接スルニ壯宜作杜蘅宜作藜蘆又古未國人ノ血留藥ト稱スルモノ
三種アリ一ツハ木腸ト云フ是擬ノ木ノ中真ニアルモノニテ白キ草ノ
如シ擬ノ木毎ニアルニホス夏稀有ノモノ也一ツハ石腸ト云フ山中
岩石ノ間ニ生ス其色赤ク黒ク煖ノ如キ苔也一ツハウシモト云フ山中
宮上ニ自然ト吹出スモノニテ自色鉄ノ如ク其性水銀ニ似タリ冬果由蘇

○本土今世ノ藥草凡種アリ下ニ出ス 辛夷 コブシ木 地榆 ワモカタ

遠志 スノハキ 竜胆 リントウ 比五味子 ミツフシ 海桐皮 ホウダク 鷓鴣風 イノリ

茅荝 アマトコロ 白頭翁 カウキキ 十麻 モリタ 細辛 カウライゲ 羌活 ミカイラク

淫羊藿 ミイモ 蒼絲子 カサレ 篤人參 トシヂキ 蒼朮 ラケラ 天南星 ヘビイナ

射干 アスラキ 草烏頭 カフト 葳靈仙 ウカイサ 以上凡種ハ古來年中藥性

ノコトヲ奉ゼシ人此州ニ来リ普ク撰ミ出シ村民ニ教エ知ラシムル處是也

尤未廣ク世ニ行ハルニハ非ス

○硝磺

本土ニ於テ硝磺ヲ出ス地ハ大野郡白川郷吉城郡中倉利郷小島郷
等ニアリ民家ノ土ヲ以テ製法セリ其堀穿タル處ニハ得敷蓬草多
葉粉ノ莖等ヲ埋メリ凡三四年ヲ経テ又其土ヲ以テ製ス ○立硝磺
製法ハ土ヲ解ク細末シテ篩ヲ以テフルイ水ニ入レ醜ニテ一返漉テ其水
ヲ釜ニ入レ半減ニ蒸シ是ヲ桶ニ移シ置ク冷テ後硝磺沉シテ桶ノ底ニ
氷ノ如キモノアリ又是ヲ碎テ水ニ和シ前ノ如ニ返漉テ蒸スルモ始メ
如ク成シテ桶ニ移ス此水底ニ塊タルモノヲ立硝磺ト稱ス是本土ニ於
テ最上トセリ ○泡硝磺立硝磺ノ次トス製法前ニ同シ ○唐硝磺
泡硝磺ノ次トス製法前ニ同シ

○蠟

本土ニ於テ製スル處ノ蠟ニ種アリ各吉城郡中鷹利郡中島郷ノ山中ヨリ出ル ○漆質 ○山漆質以上ノ二種製法他州ト同シ

○漆

本土ニ於テ製スル處ノ漆ノ木ハ吉城郡中鷹利郡中嶋郷ノ山中ニヤリ製法他州ト同シ又山漆トイフモノアリ漆ニ成リ難シ蠟ニ用ルノコ也

○膏油

本土ニ於テ製スル處常用ノ膏油ニ種アリ各口ニテ麻ノ袋ニ収メ綿木ト云フモノニ絞リ膏ト云フ木ヲ以テ絞ルテ製法他州ト同シ

○荏油 荏ノ實也村里ニ於テ悉ク作り出セリ ○ヒヨビ油 ヒヨビト云フ木アリ其コヲ用ユ凡テ此木山林ニ多シ大木ニハ至ラス其木樵ノ如ク賣モ又樵賣ニヨリ似タリ 右光荏油ニハ甚多カシ

○陶器

本土ニ於テ古クテ陶器ニ種アリ他州ニ出スニハアラス國用ノ足レル

○小糸焼 是性古大野郡ニ於テ造リ出セリ今ハ終テナシ其地ヲ今ヤイト、云是ナリ ○三福寺焼

是ハ近年同郡三福寺ニ於テ造リ出ス國用足レルコト谷美州瀬戸産ヲ學ヒ作レリ

○魚菓菜穀稱 地名類

本土ニ於テ古クテ稱スル處ノ土産ヲ載ス廣ク他州ニ出スニハ非ス國用ヲ足レルノミ ○小坂樵 益田郡中ヨリ出ル ○阿多野蕎麥 同郡阿多野郷中ヨリ出ル ○萐海苔 大野郡薩郎西ノ一色村實海苔川ヨリ出ル ○白川梅子 同郡白川郷中ヨリ出ル ○八賢蕪 同郡大八賢郷中ヨリ出ル ○上野西丸 同郡大八賢郷上野ヨリ出ル ○萩原鱒 吉城郡中鷹利郷中ヨリ出ル ○數河笋 同郡中嶋郷數河村ヨリ出ル ○今見山椒 同郡高層郷今見村ヨリ出ル ○今見多葉萩 同上 ○中山多葉萩 同郡同郷

中山村ヨリ出ル ○波也已多葉粉 同郡小嶋郷大江村ヨリ出ル
 ○五阿弥泥鱈 同郡古川郷古川所ヨリ出ル ○古川蕪菜 同上
 ○古川鮎 同上 ○飛騨安之女 凡テ溪間ノ流レニ生スル小魚
 也杖ニ泥鱈ノ如シ ○飛騨揚粟 凡テ山林ニ粟多シ甚多小粒タ
 リ故ニカチクリニ製ス味至テ佳也

飛州志卷第之ニ終

附録共拾卷之内

十一
尾六

